



業界動向 海洋散骨のハウスボートクラブ、東京・江東区内に相談・ショールームオープン

海洋散骨事業を展開する、(株)ハウスボートクラブ（本社東京都江東区、社長保志場ますみ氏）は、09年1月5日、東京・江東区内に海洋散骨の受付相談ならびに手元供養品の展示・販売を行なう「ブルーオーシャンセレモニー」をオープンした。



海洋散骨の受付相談と手元供養品の展示・販売を行なう

地下鉄・都営新宿線菊川駅より徒歩約15分、オフィスビル1階の、もともと介護施設だった場所を改装したもので、店舗面積は26㎡。葬送供養の多様化が進み、海への散骨を考える消費者がふえてきたが、内容を含めその認知度はまだ低いのが現状。同店舗の開設により、より多くの人に海洋散骨の情報を発信するとともに、各種手元供養商品、お香、キャンドルなどを陳列、販売する。

オープンに合わせ、江東区東部、江戸川区西部の住民を中心にチラシ9,000部のポスティングをし、早くも問合せがきはじめているという。

◆問合せ ブルーオーシャンセレモニー
東京都江東区扇橋1-15-11 高橋ビル1階
☎03-5617-5671 <http://www.352.co.jp/>



業界動向 全互協、東京・亀戸で新年懇親会。正会員ら220人が情報交換

(社)全日本冠婚葬祭互助協会は、1月20日、東京・亀戸にある(株)日冠の結婚式場「アンフェリシオン」にて、恒例の新年懇親会を実施した。

懇親会は、柴山文夫会長の「35周年の節目を迎え、厳しい経営環境ながら、次の世代につなぐべく業界発展に向けてさらに知恵を出し努力を続けたい」とのあいさつで開会。続いて、来賓のなかから、経済産業省取引信用課長の坂口利彦氏、衆議院議員の佐藤剛男氏、前田武志氏があいさつ。吉田茂視前会長が「不景気の影響は大きい、ピンチはチャンスと捉え事業に臨みたい」とあいさつし、乾杯した。懇親会の参加者は、全国から集まった正会員、関係団体関係者、賛助会員ら223人。それぞれ会食しながら情報交換が行なわれた。

また当日は、新年懇親会に先立ち、第153回理事会と、



懇親会冒頭の柴山文夫会長あいさつ

中小企業庁事業環境部財務課税制企画調査官の吉村忠幸氏による中小企業事業承継税制説明会も行なわれた。

◆問合せ (社)全日本冠婚葬祭互助協会
東京都港区虎ノ門3-6-2 第2 秋山ビル7階
☎03-3433-4415 <http://www.zengokyo.or.jp/>



周辺業界 東京観光専門学校、09年度から2つのフェューネラル専攻コース一本化

東京観光専門学校（本部東京都新宿区、学校長瀬尾良晴氏）は、全日制2年コース「フェューネラルプロデュース学科」を09年4月からスタートする。

06年4月に開設された「フェューネラルビジネス科」のプロデュース専攻とフローリスト専攻の2コースを一本化した同学科は、生花祭壇設営もできる葬祭プロデューサーを育成し、葬儀全体と生花祭壇のコンセプトやデザインに統一性をもたせるなど、葬儀をトータルにプロデュースできる人材育成を目的としている。

また、葬祭業界への就職を前提とし、豊富な実習や研修を中心としたカリキュラムを組んでいる。1年次には約2か月間、インターンシップ（企業研修）を行ない、実際の葬儀に関わる仕事を体験させるなど実践的な内容となっている。



新学科でも実践的なカリキュラムを用意（写真は今年度の実習風景）

課程修了後は、葬祭教育機関の認定校として、葬祭ディレクター2級の受験資格が得られる。

◆問合せ 東京観光専門学校
東京都新宿区市谷田町3-21 ☎0120-67-6006
<http://www.tit.ac.jp/>